

新着！ 海の生き物レター

水族館
07.2.18
Vol.17-No.1



日本初公開！

南極の魚

メガネカモグチウオ

First exhibition in Japan

Antarctic fish

Mawson's dragonfish



全長約 30cm メガネをかけたように見える模様が名前の由来です

南極の魚「メガネカモグチウオ」を展示しています。南極大陸の沿岸、水深 110～300m に生息すると言われており、南極の昭和基地周辺では 2023 年に初めて確認されました。当館の飼育係が 2024 年第 65 次南極地域観測隊の一員として生物調査や採集活動を行い、この魚が生きたまま初めて日本に運ばれることになりました。まず南極観測船しらせに乗ってオーストラリアまで、そこから陸路と空路を経て日本へ到着する 1 か月半の長旅でした。水槽の環境にも順調に慣れ、無事に日本初の展示となりました。



昭和基地では海水に開けた穴からスカリ(小型の生けす)をつるし、そこに魚を入れて飼育していました。



南極から魚を運ぶ容器

密閉バケツに魚を収容し、保冷用の氷とともにクーラーバッグに入れます。保冷車などを使用し常に低温環境で運びます。